

2018年度（第32回）静名戦 プログラム

1. 基本情報&タイムテーブル

- 開催日 : 夜の部 - 2018年12月22日(土)
 昼の部 - 2018年12月23日(日)
- 会場 : スポーツビレッジ 村山ジャンボ
- 主催 : 東海学生オリエンテーリング連盟
- 主管 : 2018年度静名戦実行委員会

12月22日(土)

- 午後 夜の部種目発表、夜の部及び昼の部エントリーシート配布
- 18:00 夜の部及び昼の部エントリーシート提出(夕食時)
- 20:00 夜の部開始、優勝杯返還

12月23日(日)

- 07:00 朝食
- 09:45 デモンストレーション
- 10:00 WAクラス 1走スタート
- 10:05 MIXクラス 1走スタート
- 10:10 MAクラス 1走スタート
- 12:30 繰り上げスタート
- 14:00 フィニッシュ閉鎖、撤収
- 15:30 表彰式
- 16:00 解散

※当日の運営状況によりタイムテーブルは変更する可能性があります。

※各クラス1走の選手はスタート5分前までに集合してください。

2. ご挨拶

静岡大学オリエンテーリング部

部長 虎走脩平



荒涼たる冬となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。さて、今年も静名戦の時期がやってまいりました。静名戦とは、静岡大学と名古屋大学が夜の部、昼の部を通して東海の覇者を決する戦いであり、一方で両大学の交流を深める大切な機会でもあります。静名戦は 30 回を超える歴史の古いイベントではありますが、このような対抗戦を運営して下さる方々へ感謝を申し上げます。

今年の静名戦は富士山麓が舞台です。だからといい、体が青くならないよう予め富士山並みのアップをこなし、困った時は頭が真っ白にならないように冷静な気持ちで戦いに臨んでください。

また、静大生はご存知の通り、富士山麓の荊は後にかぶれて痒くなってしまいます(個人差あり)。名大生の皆さんも荊に気をつけて富士山パワーを感じつつ静岡県を満喫してください。

以上をもちましてご挨拶とさせていただきます。両校のご健闘をお祈り申し上げます。

Nagoya University Orienteering Club

Captain Masashi Kawaguchi



Temperature become lower and lower, and the next year is just around the corner. Yes, the season of Seimeisen has come! I would like to express my deepest gratitude to all staffs for preparing and holding the 32nd Seimeisen as usual.

I heard the number of participants of this year from Nagoya University is more than 40, and it is more than that of last year's total participants which include rivals from Niigata University and Tokyo University of Agriculture and Technology. Some exciting battles that heat up freezing cold air will occur in Marubi Nature

Park, that is the terrain of Tokai Intercollege Championship in 2018.

However, not only the race is all of Seimeisen. The night part is also an important factor that may change the result. And, this is a chance to communicate with Shizuoka University's people, so I wish everyone will enjoy this opportunity. I'm sure that some enjoyable events are waiting for you! (sudden pressure)

That's all of my speech. I will cheer from Canada, and I hope Nagoya University will win.

気温もだんだんと冷え込んできて、もう来年がすぐそこまで迫って参りました。そうです、静名戦の季節の到来ですね。今年で 32 回目となる静名戦が例年通り開催されることに運営者の皆様に多大なる感謝を申し上げます。

今年の参加者は名大側だけで 40 名以上となり、これは新潟大学・東京農工大学からの刺客を含めた去年の合計参加人数よりも多いとお聞きしました。今年度東海インカレの舞台となった丸火自然公園で寒い空気を暖めるような熱く盛り上がる戦いが繰り広げられることでしょう。

しかし、レースだけが静名戦ではありません。夜の部も勝負の行方を左右する重要な要素です。また、なかなかない静大との交流の場となりますので、是非楽しんでもらえたらと思います。きっと楽しい企画が皆さんを待っていることでしょう!(謎の重圧)

以上で挨拶とさせていただきます。名大の勝利を願って、僕もカナダから応援しております。



寒さが一段と厳しくなってきました。街は Xmas が近づき活気づいているように感じます。東海学連の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年で 32 回目を迎えます静名戦、これまでに数多くの激戦が繰り広げられてきました。32 年（…ですかね？）も続いてきたこの戦い、過去のプログラムを読み返すごとに伝統の重みを感じます。まずはこの戦いが続いてきたことに対し、関係各所に感謝の意を表します。特に今年度も会場を提供して頂いた、度々オリエンテーリング関係者がお世話になっている「村山ジャンボ」様には厚く感謝申し上げます。僕はあの熱い風呂が好きです。今年の冬合宿は冬至なので柚子風呂に期待しています。

今年も静名の戦いにふさわしい舞台を用意できるよう、運営者一同努めて参ります。体調管理にはくれぐれも気を付けていただき、冬合宿の場で皆様の元気な姿を見られるよう願っております。手短ですが、以上で実行委員長のあいさつとさせていただきます。

3. 競技情報

【夜の部】

<競技形式>

3 種目による対抗戦。

1 戦目：選択問題（各大学 2 名ずつ）

2 戦目：オセロ（各大学 1 名ずつ）

3 戦目：7 人リレー（各大学 7 名ずつ）

各種目の詳細に関しては 22 日午後村山ジャンボの軒下（BBQ の所）に公表予定。

<得点>

各種目の得点配分に関しては 22 日午後公表予定。

<エントリー>

運営側で用意するエントリーシートに各種目の出場者を記入し、22 日 18:00（夕食時）までに運営者に提出してください。

<テレインプロフィール>

富士南麓の山林を中心とした片斜面に位置する、スポーツビレッジ村山ジャンボ様の食堂 2 階部分に広がるエリアで、一つしかない入り口には急峻な階段を有する。植生は畳にビニールシートが中心で見通しは概ね良いが、エリアが狭く人が密集するため走行可能性は低くなっている。地面は畳で柔らかく寝やすい。倒れている人間や周りに配置してある机には注意。ご好意で会場を提供して頂いている村山ジャンボ様の迷惑になる行為はくれぐれも慎んでいただきたい。（第 31 回静名戦プログラム参考、一部加筆修正）

【昼の部】

<競技形式>

1 チーム 3 名によるリレー競技

<競技規則>

日本オリエンテーリング協会規定の日本オリエンテーリング競技規則に準拠

<通過証明>

EMIT 社製電子パンチングシステム使用

<コントロール位置説明>

コントロール位置説明表の配布は行いません。

<地図情報>

O-MAP「丸火自然公園」

縮尺 1:10,000

等高線間隔 5m

走行可能度 4 段階表示

JSOM2007 準拠

A4 サイズ

耐水加工済（ポリ袋に封入）

<得点>

各クラス 1 位のチームに 10 点、2 位のチームに 7 点、3 位のチームに 5 点を与える。

2 回目以降の出走者を含むチームに関しても得点対象となる。

ただし得点配分は、静岡大学、名古屋大学以外のチームも含めた順位とする。

合計得点の高かった大学を昼の部勝利校とする。

<エントリー>

運営側で用意するエントリーシートに各チームの走順を記入し、22 日 18:00（夕食時）までに運営者に提出してください。

また、体調不良等不測の事態による当日のチーム変更・欠場は 8:00 までに書面による提出を行ったチームのみ認めます。それ以降に変更を行ったチームは得点の対象外とします。

<トレイルプロフィール>

富士山南麓の標高 550~700m、緩やかな斜面に位置する植林地が主です。植林のための林道や作業道が多く発達しています。走行可能度はよく、柔らかい土の地面が多いですが、植生の影響で走行可能度が悪い場所や溶岩により地面が不安定な箇所もあります。溶岩に由来する微地形も存在します。(第 59 回中日東海ブロックオリエンテーリング大会プログラム参考)

<コースプロフィール>

一部走行可能度が低く見通しの悪いエリアを通過するが、大半が走行可能度の高いエリアである。スピーディなレース展開が予想される。

<クラス・コース情報>

| クラス | 距離 (km) | 登距離 (m) | 優勝設定 (min) |
|----------|---------------------------|---------|------------|
| MA (男子) | 3.3~3.4 | 105~115 | 25×3 |
| WA (女子) | 2.8~2.9 | 80~90 | 25×3 |
| MIX (男女) | 1,3 走に MA、2 走に WA のコースを配置 | | |

※全クラス会場を通り抜ける区間が存在する。そこからフィニッシュまで 5 min 程度。

<ウイニングラン>

各クラス、優勝が確定的なチームに限りウイニングランを行うことを認める。

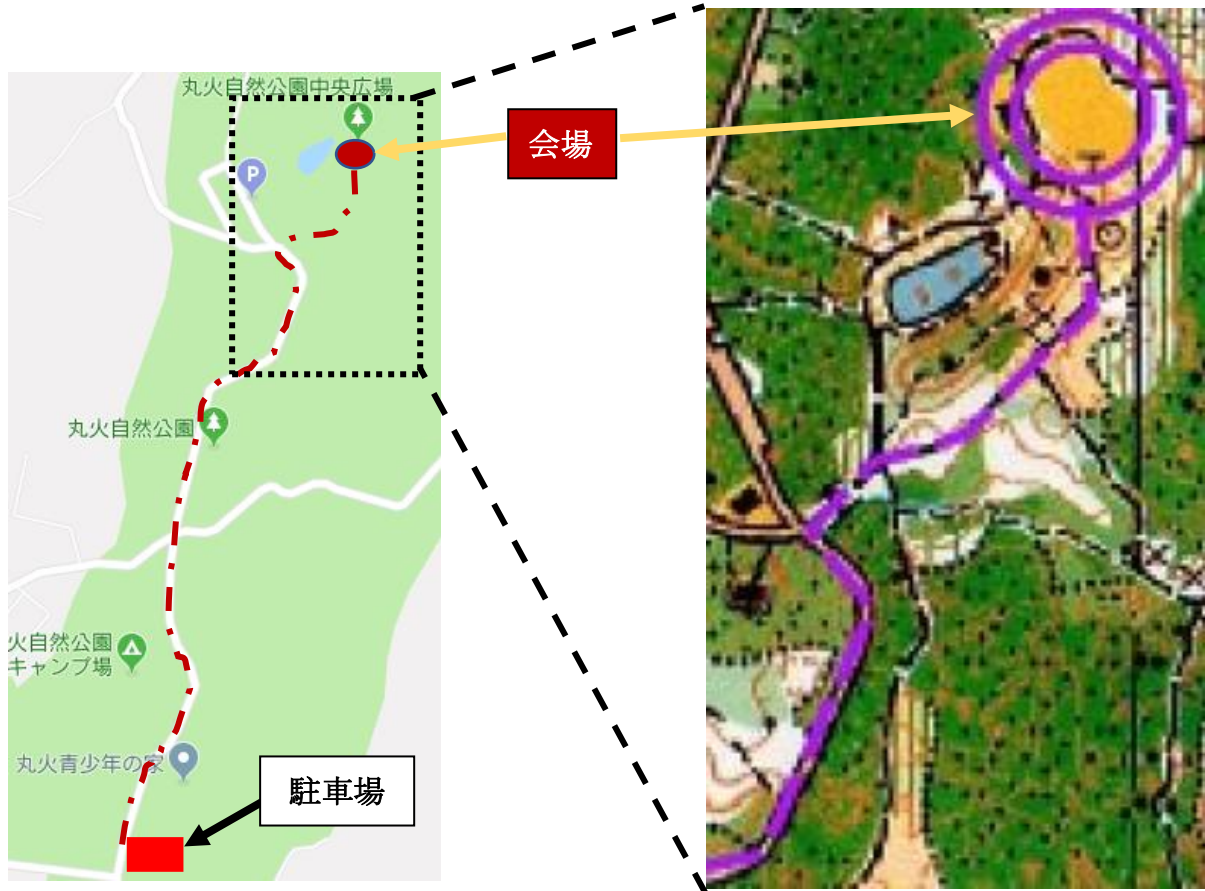
【総合成績】

夜の部、昼の部での総合得点を評価し、得点の高い大学を第 32 回静名戦の勝利校とする。総合成績の発表及び表彰は昼の部終了後に行う。

<会場・駐車場案内>

会場：丸火自然公園中央広場

駐車場：丸火青少年の家 南下段駐車場



4. エントリーリスト

| | | |
|------|---------|------|
| 1 日目 | 名古屋大学 | 25 名 |
| | 静岡大学 | 10 名 |
| | 椋山女学園大学 | 14 名 |
| 2 日目 | 名古屋大学 | 34 名 |
| | 静岡大学 | 10 名 |
| | 椋山女学園大学 | 14 名 |

| 大学名 | MA | WA | MIX | |
|---------|----|----|-----|--------|
| 静岡大学 | 3 | 0 | 1 | 4 チーム |
| 名古屋大学 | 10 | 1 | 1 | 12 チーム |
| 椋山女学園大学 | 0 | 5 | 0 | 5 チーム |
| 計 | 13 | 6 | 2 | |

5. 静名戦歴代優勝校

- 第 1 回静岡大学（坂野坂）
- 第 2 回名古屋大学（岡崎東公園）
- 第 3 回静岡大学（奥殿陣屋）
- 第 4 回静岡大学（坂野坂トンネル）
- 第 5 回名古屋大学（山中城跡）
- 第 6 回静岡大学（衣文観音）
- 第 7 回静岡大学（取り直しの一番古戦場）
- 第 8 回
- 第 9 回静岡大学（東広瀬城）
- 第 10 回
- 第 11 回静岡大学（春日井）
- 第 12 回静岡大学（青山高原）
- 第 13 回名古屋大学・静岡大学
（県立森林公園）
- 第 14 回名古屋大学（藤岡）
- 第 15 回
- 第 16 回静岡大学（勢子辻）
- 第 17 回
- 第 18 回

- 第 19 回静岡大学（作手高原）
- 第 20 回名古屋大学（村山口登山道）
- 第 21 回名古屋大学（亀山城跡）
- 第 22 回静岡大学（丸火）
- 第 23 回静岡大学（水別）
- 第 24 回静岡大学（昭和の森）
- 第 25 回名古屋大学（日沢）
- 第 26 回名古屋大学（三河高原牧場）
- 第 27 回名古屋大学（村山口登山道）
- 第 28 回名古屋大学（鳥追窪）
- 第 29 回名古屋大学（日沢）
- 第 30 回静岡大学（水別）
- 第 31 回名古屋大学（日沢）

※空欄は不明，（○）は開催地

現時点

静岡大学：15 勝

名古屋大学：12 勝

(不明：5 回)

6. 実行委員一覧

| | |
|---------------------|-------|
| 実行委員長 兼 夜の部競技責任者 | 石井達也 |
| 昼の部競技責任者 | 南河駿 |
| 当日役員 | 是永大地 |
| | 野田昌太郎 |
| | 堀尾健太郎 |

発行：2018 年度静名戦実行委員会